

令和3年度事業報告

宮城県の経済状況については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続くなか、全体としては持ち直しの動きが見られているが、観光産業は依然として深刻な影響を受けており、海外との往来再開を見据え、新たなビジネスモデルの創出を図るなど、持続可能で選ばれる観光地となる取組を進めていく必要がある。

こうしたなかにおいて、当協会の主な事業として、宮城県の経済の更なる成長や発展に向け、ソウル事務所及び大連事務所において、現地の経済に関する情報収集や分析を行うとともに、県産品の販路開拓支援や、SNS等を利用した宮城県の魅力の発信に取り組んだ。

1 海外事務所運営事業

(1) ソウル事務所の運営事業

イ 情報収集・発信

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面での会議や訪問機会は限定的になったものの、各種会議等の出席や官公庁、経済団体、企業への訪問など韓国経済の情報収集活動を行った。また、河北新報に対する寄稿等による県民に向けた情報発信のほか、各種問合せ対応等を通じ、県内企業等や韓国国内への情報提供を行った。

① 情報収集

- | | |
|----------|--|
| a 会議への出席 | 在大韓民国日本国大使館経済部主催定例会議等 |
| b 官公庁等訪問 | 日本政府観光局（JNTO）ソウル事務所、
自治体国際化協会（CLAIR）ソウル事務所等 |
| c 経済団体訪問 | 日本貿易振興機構（JETRO）ソウル事務所、韓日経済協会等 |
| d 企業訪問等 | アジアナ航空ソウル支店、日本酒輸入商社各社、旅行会社各社等 |

② 情報発信

- | | |
|--|-------|
| a 宮城県ソウル事務所Facebook・Instagramへの観光情報等掲載 | 計188回 |
| b 河北新報「海外通信」への寄稿，メルマガみやぎへの寄稿 | 計9回 |
| c 宮城県の観光情報等の提供 | 随時 |

ロ 県内企業等の海外活動支援

韓国に渡航してPR活動等を行うことが困難な県内事業者を支援するため、韓国企業に対する情報提供、オンライン商談等の斡旋仲介や販売促進支援、韓国国内の法制度に関する調査報告等を実施した。

- | | |
|--|-------------|
| a 県内生産者と韓国輸入事業者のオンライン商談の斡旋仲介 | 計7件（うち成約3件） |
| b 県内観光施設と韓国旅行エージェン트의オンライン商談の仲介 | 計1件 |
| c 新規輸出蔵元商品に係る輸入商社と連携した試飲会（6月） | |
| d 県内マスコミの韓国現地取材の斡旋・協力（7月） | |
| e 韓国で開催される日本人形展の来場プレゼントで県内こけし工人制作のえじこを紹介（8月） | |
| f 韓国の商標登録制度や海外商標取得に係る支援制度についての調査と結果周知（10月） | |
| g 県内日本酒認知度向上・販売促進のため輸入商社直営店でのMIYAGIフェア開催（2-3月） | |

ハ 宮城県のPR活動

新型コロナウイルス感染症により、各種の制約を受ける中での実施となったが、韓国国内でのイベントの開催・参加や、広告記事掲載等の可能な手段を活用し、宮城県観光・経済のPR活動を展開した。また、震災からの復興状況や、原発事故風評払拭に向けた情報発信を行った。

① イベントへの参加

- a オンラインこけし絵付けワークショップ（計2回）
- b 韓・日地域間経済交流フォーラム2021での講演（9月）
- c 韓国国内日本調理学部の大学生を対象にした日本酒講義・県産日本酒試飲会（12月）

② 韓国国内マスコミ等への情報発信

- a 韓国観光業界ニュースサイト「TtLNews」、[旅行産業eニュース]への観光情報掲載（計3回）
- b 韓国観光業界雑誌「TRAVEL INSIGHT」に観光記事（6ページ）掲載（12月）
- c 在大韓民国日本国大使館公報文化院季刊誌でのこけし特集掲載支援（3月）
- d 在日韓国人Youtuberによる宮城訪問動画の制作支援・動画発信（3月：約10万回視聴）

③ 原発事故風評払拭

- a 21世紀研究会（日韓交流民間団体）での震災復興に関するオンライン講演（4月）
- b 宮城在住韓国人等による石巻地域のモニターツアー（9月）

ニ 交流事業への支援等

韓国中小企業の日本企業研修における視察先の紹介や、オンライン講師の仲介を通じた企業間交流の促進や、市民団体間交流の仲介・支援を行った。また、韓国で唯一の日本調理学部を有する大学と交流協定を締結し、往来再開後の学生による県内研修旅行等の実現に向けて体制を整備した。

- a 韓日産業技術協力財団主催、韓国中小企業者の研修カリキュラムにおける視察、講師の仲介
 - ・ 県内企業の韓国現地法人の工場視察（2回）
 - ・ 県内企業関係者によるオンライン講義（2回）
- b 県内市民団体と韓国国内団体とのオンライン交流に対する支援（9月）
- c ウソン情報大学との交流協定締結（12月）

（2）大連事務所の運営事業

イ 情報収集・発信

中国国内で開催されたイベントへの参加や各種展示会を視察したほか、官公庁その他関係機関への訪問等を通じて、中国市場等に関する情報収集活動を行った。

令和3年度は、年間を通じて、大連市をはじめ中国各地で散発的に新型コロナウイルス感染症の拡大による移動制限等が発生し、開催が予定されていたイベントや商談会等の延期や中止が相次いだため、中国版SNS「微博（ウェイボー）」や「抖音（ドイーン）」等の活用を強化し、中国国内に向けた宮城県の情報を発信するとともに、県内企業等に対して中国市場などに関する情報を提供した。

① 情報収集

a 会議等への出席

日本貿易振興機構（JETRO）大連事務所をはじめ、経済団体や民間コンサルティング企業等が行う各種セミナー・研修会等

b 官公庁訪問等

大連市、遼寧省、長春市及び吉林省等の中国東北部の各地方政府並びに在瀋陽日本国領事館等

c 経済団体訪問等

中国国際貿易促進委員会、日本貿易振興機構（JETRO）大連事務所

d 企業訪問等（オンラインによる会議を含む）

本県の大連進出企業、中国航空会社、中国旅行会社、中国企業及び現地日系企業

② 情報発信

a SNS（微博（ウェイボー）、抖音（ドイン））を活用した宮城県に関連する情報の配信

b 民間のオンラインセミナーを活用した中国国内動向の把握と宮城県等への情報提供

c 中国に進出する県内企業に対する各種法制度の情報や展示会開催情報などの提供

d 中国に進出する県内企業に対する新型コロナウイルス感染症に関連する情報提供

ロ 県内企業等の海外活動支援

県内企業等からの要請に応じ、現地企業等の紹介や助言を実施した。

① 中国国内での活動に対する支援

博覧会等への企業出展支援（オンライン出展を含む）、民間団体の交流活動支援、企業資料等の中国語翻訳などを行った。

② 現地企業等への県内企業等の紹介

中国企業への県内企業紹介、県内企業への中国での営業先紹介等を行った。

ハ 観光客誘致推進

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により停止している仙台－上海便及び仙台－大連－北京便の再開及び路線維持のため、宮城県が北京市及び上海市に設置している観光サポートデスクと連携し、中国国内の旅行会社の運営状況に関する情報収集や微博（ウェイボー）、微信（ウィーチャット）などのSNSを活用した観光情報発信を実施した。

また、令和2年度に大連市文化旅遊局と大連にある5県1市の自治体事務所が連携して構築した、インバウンドとアウトバウンド双方に向けた情報発信のプラットフォームを活用し、宮城県の観光、物産等のPRを行った。

二 宮城県のPR活動

宮城県の魅力を周知するため、イベントへの参加等を通じた資料配布や、SNSの活用、旅行会社への訪問等による宮城県のPR活動を展開した。

① イベントへの参加

- a アカシア祭り（開催都市：大連市）（5月23日）
- b 日中経済協力会議（開催都市：瀋陽市）（9月22日～25日：ブース出展）
- c 北東アジア博覧会（開催都市：長春市）（9月23日～27日：ブース出展）
- d 遼寧省美食ウィーク
（開催都市：大連市ほか4都市）（9月末から10月初旬：ブース出展）
- e ABCクッキング成都でのPR（開催都市：四川省成都市）（10月16日）
- f 上海ハロウィンイベント（開催都市：上海市）（10月23日：出展）
- g 東北観光推進機構オンラインセミナー・商談会
（開催都市：大連市及び瀋陽市）（大連市2月23日、瀋陽市2月25日）
- h 天皇誕生日祝賀レセプション（開催都市：瀋陽市）（2月23日：出展）

ホ 交流事業等への支援

① 県事業への支援

資料の翻訳、イベント（WEBミーティング）時における通訳、事業計画立案への支援

② その他

大連宮城県人会の活動支援や七十七銀行上海駐在員事務所等が実施する事業への支援

2 海外との経済交流支援事業

宮城県や関係機関・団体と連携を図りながら、県内企業の国際ビジネス推進の取組を支援した。

（1）海外での展示商談会開催

イ 宮城県・上海商談会開催事業（10月26～29日）

宮城県と七十七銀行が共催で、中国経済の中心である上海市で開催される「FBC上海2021ものづくり商談会」に参加し、宮城県企業と中国企業等との商談を支援した。（参加企業2社）

ロ 宮城県日台企業遠隔商談会（日台企業商談会 10月22日、11月10日、25日、12月10日）

「台日中小企業連携推進プラットフォーム」等関係機関・団体の協力を得て、オンライン商談会を開催した。県内企業15社、台湾企業7社が参加し、31件の商談があった。

（2）海外ビジネスに関する相談・助言

県内企業からの海外ビジネスに関する相談を受け、宮城県とともに助言を行った。

（3）その他

海外ビジネスに関する情報を、宮城県と連携して「みやぎGBメール」として、県内企業に配信した。

3 その他事業

行政機関・公的団体等からの業務受託

イ 韓国観光プロモーション業務、宮城オルレ韓国プロモーション業務

宮城県からの受託事業として、県内や宮城オルレへの韓国人観光客を誘致するため、展示会等で

のダイレクトPRやSNSを使った情報発信、韓国内旅行会社エージェン特等に関する情報収集や、日本に向けた韓国内関連報道の翻訳配信、県内在住韓国人による小規模分散型のモニターツアー等を行った。

① 韓国観光プロモーション業務

- a 第6回大韓民国国際観光博覧会出展（9月）
- b 韓国旅行会社役員・エージェン特等への情報収集（計72回）
- c 韓国内旅行・航空業界関係報道の翻訳配信（計84回）
- d 情報発信SNSチャンネルの多角化（Instagram, Youtube）

② 宮城オルレ韓国プロモーション業務

- a 済州オルレ協議会との連絡及び意見交換
- b 在韓国日本大使館公報文化院フォトコンテスト開催協賛（8-10月）
- c 小規模分散型の宮城オルレモニターツアー（10月）
- d 済州オルレフェスティバルへの宮城ブース出展（10-11月）

ロ 中国観光プロモーション業務

宮城県からの受託事業として、中国人観光客を誘致するため、各種商談会への参加や展示会等への出展を通じて宮城県の観光資源に関するPRや震災からの復興状況及び新型コロナウイルス感染症への対応状況に関する情報発信等を行った。

① 商談会参加・展示会出展（オンラインによる開催を含む）

- a 中日大連地方経済交流会（開催都市：大連市）（4月16日：観光PR展示）
- b 日中経済協力会議（開催都市：瀋陽市）（9月22日～25日：ブース出展）
- c 北東アジア博覧会（開催都市：長春市）（9月23日～27日：ブース出展）
- d 遼寧省美食ウィーク
（開催都市：大連市他4都市）（9月末から10月初旬：ブース出展）
- e 天皇誕生日祝賀レセプション（開催都市：瀋陽市）（2月23日：出展）

② 双方向性のある情報発信プラットフォームの構築

新型コロナウイルス感染症終息後の相互往来の再開と直行便の路線維持を図るため、大連市文化旅遊局及び大連にある5県1市の自治体事務所が連携し、インバウンドとアウトバウンド双方に対する情報発信のプラットフォームを構築した。

令和3年度は、このプラットフォームを活用して、東日本大震災から10年に際しての知事メッセージ、宮城復興の旅、宮城県の観光情報の3本の動画を抖音（ドイーン）、bilibili等の中国で活用されているSNSにより情報発信を行った。

ハ 北東アジア博覧会出展業務

宮城県からの委託を受けて、令和3年9月に吉林省長春市で開催された第13回北東アジア博覧会及び第2回北東アジア地域協力円卓会議等の関連行事に出席した。また、同博覧会へのブース出展により、宮城県と吉林省の友好県省締結35年の取組を動画で紹介したほか、宮城県の観光、物産及び県内主要産業のPRを行った。